

公民館だより

55-6 良公民館

”明るい社会”

自介は社会の一員である

館長 藤本 泰雄

先日、文化朝会開催の際、若くは高校生の前頭になつた。A氏から或る日汽車に乗つたが満員に近いのに、ある高校生が両足を前の座席に押し他人を座らせようとしてわざと知らぬ顔をしていた。又数人のカールスは煙草をすうていて驚いた。B氏からは、朝所用で風道を車で走つていたら、たまに通過時と重なつたが道一杯に人が詰つて歩いて大変困つた。小中津生は右側を通つているのだからかと思つた。勿論カールの発音は由衣の高校生を言つてゐるのではないと思つた。二人は状態を親や先生は果して知つてゐるのかどうか。又何が原因であるのか。どうしたらよいのか。参考をさせられた。

第一は家庭教育の必要で、子どもの時から、社会に出てからも適用するよう社会ルール、例えは道は右側を歩くとか、汽車に乗つたら老人は席をゆずるとか

みや空かんは竹芝の場所以外に捨てないとか、草を抜えておくことだ。

第二は学校でもやはり社会ルールをしつかり教えることだ。自分だけのことをしか考えない行いでなく相手のことを思つてつかいや行いを教えるべきだ。

第三は社会の成人も青少年の非行について、みんまで注意し合う必要がある。

家庭と学校と社会が連絡をとり一体となつて社会ルールを守つていきたいものだ。

しかしよく考えるところのことは青少年に限らず、一般成人においても果して青少年の模範となつていゝるや否や反省させられる。我々人間は一人では生きられないのだから、みんな他人のことも考えるべきだ、社会の中へ生きてゐる個人も尊重するが、みんなが幸せになる社会も明るくするよう個人も努力する。とり個人の人格を向上させしそれを社会全部に接していく必要がある。何といつても明るい社会をつくるために、自分も社会の一員である。これを自覚して、行動すべきである。



報告(一)

主事 平岡 克己

本年度の事業

公民館では今年も、皆様の健康の増進、教育の向上、情操の純化を計り、多難な時代でも青く生きるとの意義を公民館行事に参加する中により、深めて頂く度いと想います。

一、公民館

- (1) ふるさと教室 行政委の指導に基づき、由衣小 学校で行う
- (2) 成人式 該当者の確認、連絡及び当日の世帯

二、文化部

- (1) 公民館だより 年三回(六月、十月、三月) 年一回、今年是由衣のビュウ
- (2) 産婆会 一と探る会を催す(だい)
- (3) 金おどり 八月二十三日(金蘭会)
- (4) 史蹟めぐり 九月第一日曜日 小沢方面
- (5) 文化系 公民館関係職員の研究 十一月二十三日(生花、書道)
- (6) 西書館への奨励 年間約二十冊、土曜日以外

出

- 部長 中西俊夫 副部長 中井茂木
- 部員 飯沢登志郎 坂本 剛 小松賢輔
- 杉本幸一 中西英夫 山田常吉
- 山田昭夫 榊田九兵衛 山下衣一
- 小室ニミ子 酒田八重子

(三) 体育部

- (1) 由衣登山 四月二十九日
- (2) ソフトボール講習会 七月頃
- (3) 赤枝大会 八月二十五日(会費を払ふ)
- ソフトボール 一般男子
- 野球 青年男子

- (4) 卓球 大会
- (5) スポーツサークル

- 卓球(月曜日) 剣道(火、金曜日)
- バドミントン (水、土曜日)
- バレーボール (木、日曜日)
- 野球、定球は不定時
- 部長 矢野吉明 副部長 中西隆光
- 部員 森本松二 中西 孝 大坂 治
- 山田良明 岸田 剛 岸田赤樹
- 田中八重子 中西田藤子
- 剣道講師 小室文雄 北野 寛 濱戸野吉也

(2)

報 告 (二)

一 廿良岳登山 四月二十九日

今年も多くの家族、クルーが参加した。

これも小さなグループから参定された。大森貢一氏、大妻、それら四方寿朗先生の参加を得、その書下より皆が安心して登山出来る自信が付き、登山の高さを体感で感えた事感が、十五回も続いた事感であらう。



最近由良岳登山道路夜修工事が、予算化されるや、又中では参加回数も記念して、マナーを定めてはどうかとの意思も出ている。

大衆に大きく響かなくてはならず、他所からの参加も少なくなったこの行事を大切に続けたい。

二 地区運動会の見送りについて

かねてより開催について批判もあり、公民館としても、アンケートによる民意を聞くことになり、結果は左の通り。

地区運動会アンケート集計表

五三年六月

実施	脇	宮本	赤松	港	下瀬	上瀬	合計
毎半年	二六	三五	五七	二五	七	八	二五八
毎一年	三九	四二	四〇	一三	八	一	一五二
不参加	三〇	二五	一〇	一四	五	一	七九
開催							
一月	三二	二七	三六	一九	三	一七	一三四
二月	二五	四一	四一	一五	一	三	一三六
三月	六	四	五	二	一	一	一八
四月	一	一	一	一	一	一	一
方法							
一日	四五	五九	七五	三五	一三	一五	二四二
二日	一八	一八	一七	二	二	五	六〇

この集計表を運動会委員会に計り、慎重審議の結果、今年は見送り(中止)来年度の運動会に於て、次めようとの決定となった。

尚このアンケートより寄せられた中、意見も多し、その内容を参考として発表します。

小学校の運動会と一緒にやったりしたい、運動会に代り、昔の昔の健康増進的なものはどうか。

三 公民館使用状況

昭和五十四年 昭和五十五年

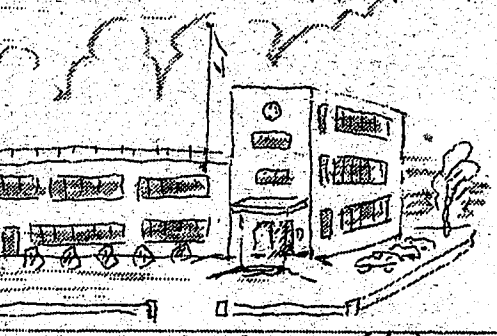
月	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	合計
一月	二四五人												
二月		一〇四人											
三月			三〇人										
四月				三〇九人									
五月					一九二人								
六月						一七二人							
七月							二二三人						
八月								一九四人					
九月									一八〇人				
十月										四〇三人			
十一月											二二七人		
十二月												一五四人	
合計	二五七人	二五七人	二五七人	二五七人	二五七人	二五七人	二五七人	二五七人	二五七人	二五七人	二五七人	二五七人	二五七人

以上の外に声をかけるものもあろう。公民館も前向きな姿勢で行事を定めて準備していき、残念ながら、決定した。然し残された課題は運動会に代り、皆んな喜んで参加出来る行事を考へたい。

時代の流れとはいえ、金庫りが金庫金の一日の限られ、除々に昔の文化や伝統として受けたい。出の行事が経済優先や世帯不安、健康や文化方面が虫はそれ浸食され、それを着して行く事は、かたがた、限りである。



以上の状況で、利用者の多い現状は、無視出来ない。今後、はたして、皆んな喜んで利用し、活用出来る公民館、例えは、生花、書道、料理教室、等々、準備を整え、準備の整った新居のある新公民館を建設したい。



(女)

(3)

八十年代の

婦人会活動

由良婦人会々長 川室二三子



現在の社会情勢は、ますますその激しさを増し、高度経済成長により生じた大きなひずみは、私達の家庭の経済的不安定や家庭教育の機能の低下、そして青少年の非行の増加などいろいろな困難な問題が出てまいりました。八十年代は見直しの時代と云われ、ますます様々な問題がこれぞといふのか、婦人の健康問題は、青少年の問題は、婦人の果敢役割は非常に大きく、これからの社会教育のあり方、婦人会活動の重要性が一層見直される様になつてまいりました。

由良地区におきましては、みんなの念願でありました脇地区婦人会が、この度二十名の会員をもつて結成されました。解散より六年、その前代々の婦人会の役員さんの方、脇地区の区長さんをはじめ多くの方々の心なすかたの配慮とご尽力のもと下やうと行成されるに至りました。この厚くお礼申し上げます。今婦人会はやうやうの準備もこのころが出来ました。この喜びを前々からなすかたの二度と繰返すことのない様活動を進めていかねばならないと思ひます。婦人会は長い歴史を持ち、今一層大いかな歩みと飛躍をいたして長ります。

のは、地域の方々の暖かい支援がります。これは勿論でございますが、会費並びに正代の役員さん方の苦難の道をのりこえて並々ならぬ努力のもとに受け継がれてまいりました。ありがとうございます。

今年には国際婦人年の中間年にあたり、せんではないりまして婦人の活動を静かに考へてみたいと思ひます。国際婦人年のテーマであります男女平等、婦人の地位の向上を口にするにあたりましては、婦人自身も帯び得る責任と努力と一層の学習をつみ重ねていかねばならないと思ひます。

今年度の市婦連の活動方針

豊かになつて住みよい地域社会を婦人の手で育んでゆかぬ。

と誓つております。現代の急激な社会の変化により人の心がさくはくとし、人間性が失われつつある今日、会員相互が常に豊かな心を保ち明るく健康で共に進歩成長を持ちながら会員の資質の向上に努め、よりよい地域社会をつくる為、に努力しなければなりません。

私達はすばらしいふるさとに住んでおります。このふるさとを愛し、育て、婦人の幸を築く為、八十年代にふさわしい婦人をしてこれからも会員一同、一体となつて婦人会活動に取組んでまいりたいと思ひます。

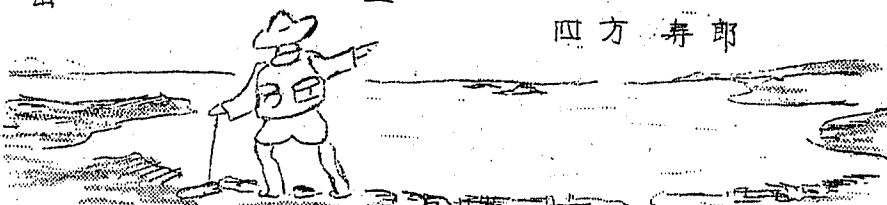
どうぞ、皆様方のご支援とご指導をお願い申し上げます。

今年も四月二十九日天皇誕生日に恒例の由良岳登山が行われた。晴天に恵まれ、さわやかな山の自然を満喫する人が出来た。

休みながら秋の足で約二時間汗をかきふき、ようやく虚空蔵菩薩の祠がある頂上に達する。山からのなごみは、オキク絶景である。眼下に広がる日本海、由良川が南から注ぐ。左に栗田湾、その後には丹波半島が近く。右手には陣笠岬、対岸の旗山の後には舞鶴湾、その向うは標高六九九米の青葉山がそびえる。南に目を凝らすと、奥下の森林の谷に遠く丹波の山並が連なる。すぐ右に標高六四〇米由良岳の主峰が並ぶ。因みに今年の立つ、東峰は五八三米である。その左にすぐ近く赤岩山、後には大江山連峰が控えている。

由良岳登山

四方 寿郎



由良岳山頂 日本海との対峙

頂上の草葉は、今や春並当の量中である。総勢約二百人、他所からの人もちらほら見えるが、由良の

親子連れが多い。山道を登りながら親は思いがけず我が子の成長ぶりに驚き、子は親のたくましさを見直す。緑の大自然の中で多くの人と楽しく余事を共にする。まさに最高の親子連れである。

昭和四十一年五月三日、大森第一区ご夫妻がそろはんの子供達と由良岳へ登る事になった。当時小学二年生だった下の娘が一緒に歩きたいと言いつた。落後した時の附添にと私が付いて行ったのが第一回となった。落後しそうなったのは私の方で、体力の衰えを奮起して以来決まると誓った。お蔭で今日まで健康で、公民館行事として定着した由良岳登山に、連続十五回参加している。

由良や陣笠岬を眺めながら

おなご山行をやらせよう

の歌の通り、由良岳の雑木は製塩に大きな役割を果たした。官公造林は小学校放棄の首領となつた。夏水道水が豊富に使えるのも山のお蔭である。心の支えである以上、由良岳は我々の生活を支えて今日に至つた。美しいふるさとの自然と、いつまでも愛しい大切にしたいものです。

作品集

中西夏江

しらしらと花は咲くかな かの春のふたりし
 つかよ 思慕はまかりし
 ふたりしつかのその花かけに夕日さし われ
 にも白き風流れ来ぬ
 ひたりしつかは ほのと咲くなりその子房
 さびしく白く月下ふくらむ
 花を愛し 花の季を病みて逝く人に夕べひた
 ぶる青き風吹く
 花の鉢に きみの生深くありたるを愛るごと
 なき人に 目覚る
 人世きレタべはものの香くして花の記憶の祈
 り 捧げむ

俳句

ヨーロッパの春 岸田ふみ
 大夕焼 今北極の 霞染めて
 テームズの 川面より清き、出する霧
 テームズの 濃き川霧に 雲を航す

王宮の 霧にはためく 女王旗
 虚子の句碑 建つ外園の 霧の丘
 アルラスと 越ゆる園境 唇のバス
 毛糸織む レマン湖畔の ベーナのはな
 暖炉燃ゆ ロビーより見る 風車かな
 新雪の 堤防滑るまじ 風車観下
 アラスカの 万葉雪の けがれなし

文化祭に

あなたの作品を

公民館では、毎春秋に文化祭を開催しております。
 この催しを聞くについては、地区の沢山の方々
 へ貴重な作品を出していただくなど、さまざまに
 協力をお願いしておりますこと、厚くお礼申し上げます。
 本年も、地域文化向上の一助となりますことを
 願いながら、継続行事として秋に文化祭の開催を
 計画しております。
 開催までにはまだ日もありますが、出品してい
 たいく作品の計画や製作の時間を必要としまして
 文化祭開催予定のご案内をさせていただきます。
 いろいろな趣味をおもちの方、あるいはグループ

のオマ 今年の文化祭には、今から作品を出してみる
 ことを考えていた方がたくさんか
 この文化祭が、何人のつながりの場として、皆さん
 へ利用していただきますことを願って、ご案内します。

文化部



防犯 由良

TEL 6-0114



夏の事件・事故防止
 ドロボーに御用心!

由良地区では毎年夏の海水浴シー
 ズンになりますと水着盗、自転車盗
 出店荒し等が多発しておりますので
 次の事に注意して下さい。
 ・女性用の水着は夜間屋外には干さ
 ない
 ・由良地区の自転車は10%が無差
 失です。
 ・自転車に鍵かけを
 ・お出掛けの際は、戸締りの再確
 認を

水着事故防止に万全を!

かんだを平らう等い命
 昨年由良海水浴場では二名が水の
 犠牲になり、今年はずでに一名の犠
 牲者を出しております
 次のことに注意しましょう。
 ・大人でも無理な泳ぎをしない
 ・毎日子供に溺れをもつて一人でも
 死に出さない。
 ・子供に危険な場所へ行かせない
 ・不用となった浮き輪、水そうには
 埋めるか、ふたをする。

交通安全

・バイクの昼間点検運動を実施中
 ・夏中由良地区道路駐車禁止の要
 又中央市道は一方通行に

紙面のペンネームは可とする

- ▽投稿は、西月号誌中判(4x6)
- ▽投稿用紙を使用し楷書のソコ、尚投稿用紙二枚以内とする
- ▽締切りは、三月、六月、十月のそれぞれ末日までとする
- ▽投稿送料先は、左記にて

宮津市市由良
 公民館文化部長
 中西 俊 夫 宛